

付録A 契約ガイドラインの中で本研究が網羅している範囲

項番	内容	範囲	説明
第1	総論	非該当	目的や問題の所在の紹介に関する記載のため非該当.
第2	AI技術の解説	非該当	AI技術の解説一般に関する記載のため非該当.
第3	基本的な考え方	非該当	AI開発をめぐる契約の現状に関する記載のため非該当.
第4	AI技術を利用したソフトウェアの開発契約	対象	ここを対象とした. 目的が開発プロジェクト向けの支援であるため.
第5	AI技術の利用契約	対象外	開発済みのAIモデルのサービス利用に関する記載. 優先度の問題で本研究では対象外.
第6	国際的取引の視点	対象外	準拠法の選択など国際的取引に関する記載. 優先度の問題で本研究では対象外.
第7	本モデル契約について	非該当	モデル契約の紹介に関する記載のため非該当.
第8	総括	非該当	総括に関する記載のため非該当.

※項番, 内容は「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」の目次より引用

付録B 質問と期待する回答例 (指針)

項目	回答軸	想定回答(正答例)	ガイドライン参考章
質問1	契約形態に関する こと	・学習済みモデル生成の場合ほどの段階においても準委任型の契約が親和的	第4 4(1)② 学習済みモデル生成の場合
質問2	段階別の契約留意 点「アセスメント」	・データを受領するため、秘密保持の扱いに留意が必要	第4 3(3)① アセスメント段階
質問3	段階別の契約留意 点「PoC」	・契約の型 (準委任で行うことが望ましいこと) ・PoC の成果を決めておき、検証結果をユーザと共有すること	第4 3(3)②PoC段階
質問4	段階別の契約留意 点「開発」	・契約の型 (準委任で行うことが望ましいこと) ・開発モデルの合意 (非ウォーターフォールが望ましい) ・データ提供者は誰かの取り決め (ベンダかユーザーか両方か) ・著作権等の権利の帰属	第4 3(3)③ 開発段階
質問5	段階別の契約留意 点「追加学習」	開発段階と同様	第4 3(3)④ 追加学習段階
質問6	データ別の交渉ポ イント「生データ/ 学習用データセッ ト」	・生データの開示に関する取り決め ・生データの著作物の権利に関する取り決め ・生データに個人情報を含む場合の取り決め ・生データと学習用データセットとの境界 ・学習用データセットの作成者 (ユーザー、ベンダー、両方) ・学習用データセットの権利帰属	第4 4(2)① 生データ、② 学習用データセット
質問7	データ別の交渉ポ イント「学習用プロ グラム/学習済みモ デル」	・学習用プログラムの著作権の帰属先 ・学習済みモデルに①学習用データセットを含むか、②学習用プログラムを含むか ・提供方法 (判読や二次利用が困難な方法で行うか否か) ・権利帰属・利用条件 ・再利用モデルの取扱い	第4 4(2)③ 学習用プログラム、④ 学習済みモデル
質問8	データ別の交渉ポ イント「ノウハウ」	・ノウハウのベンダ開示の有無	第4 4(2)⑦ ノウハウ
質問9	データ別の交渉ポ イント「セキュリテ ィ」	・AI 独自観点のセキュリテイ	-

付録C アンケート詳細
導入1～6

AI案件のユーザとの合意内容に関するアンケート

AI案件(機械学習技術を利用したシステム構築案件)における顧客との合意形成に関する意識調査を実施したく、ご協力をお願いします。

回答者様のプロフィールを入力願います

1) 業種*

製造業

金融・保険業

卸売・小売業

建設業

情報通信業

医療・福祉

公務員

その他: _____

2) 職種*

開発職

品質管理職

営業職

研究職

その他: _____

3) システム構築の経験年数(年)を教えてください ※経験がない場合は0年でご入力をお願いします*

回答を入力 _____

3) -1 そのうち【AI案件】の構築経験年数(年)を教えてください ※経験がない場合は0年でご入力をお願いします*

回答を入力 _____

4) システム構築案件に参画した際の立場を教えてください(複数回答可) ※経験がない場合は“経験なし”にチェックをお願いします*

経験なし

プロジェクトリーダー

プロジェクトマネジャー

メンバ

その他: _____

4) -1 そのうち【AI案件】に参画した際の立場を教えてください(複数回答可) ※経験がない場合は“経験なし”にチェックをお願いします*

経験なし

プロジェクトリーダー

プロジェクトマネジャー

メンバ

その他: _____

5) システム構築において顧客との契約行為や契約内容の合意形成に携わったことはありますか? あれば関与した案件数のご入力をお願いします ※経験がない場合は“0件”でご入力をお願いします*

回答を入力 _____

5) -1 そのうち【AI案件】の構築における顧客との契約行為や契約内容の合意形成に携わったことはありますか? あれば関与した案件数のご入力をお願いします ※経験がない場合は“0件”でご入力をお願いします*

回答を入力 _____

6) 次のAIに関わるガイドラインのうち読んだことがあるものにチェックを入れてください。 ※読んだことがない場合は“読んだことはない”にチェックをお願いします*

読んだことはない

経済産業省 AI・データの利用に関する契約ガイドライン

日本ディープラーニング協会 契約様式におけるAI品質ハンドブック

AIプロダクト品質保証コンソーシアム AIプロダクト品質保証ガイドライン (QA4AI)

産業技術総合研究所 機械学習品質マネジメントガイドライン

経済産業省 モデル取引・契約書(第一版)

その他: _____

質問 1～5

以下質問に入ります。

■前提となる条件状況

(1)A社はクレジットカードの事業者である。
B社は、AI開発やAIを利用したシステム開発を行っているSierである。

(2)A社は、B社にA社のクレジットカードの与信審査をAIで判断させるための学習済みモデル開発及び学習済みモデルを利用したシステム開発を委託した。

(3)学習済みモデルの開発のために、A社はB社に対して自社が保有する生データを提供した。
なお、契約上、A社からB社へのデータ提供は「貸与」とされており、開発等の契約目的を達成した後は返却することとなっている。

上記の状況下において、以下の質問事項9件をB社側の立場からお答えください。

※回答時のお願い事項

- 各質問毎に前提となる条件を設定しています。前提に沿った回答をお願いします。
- 回答内容の傾向を分析するため、回答内容は具体的な用語や理由を記載願います。
- 回答すべき内容がわからない場合も、下記例のようにわからなかった箇所や理由を記載頂けると助かります。

期待する回答例：アンケート内容の**は、**のような疑問と理解した。**をどう判断すればいいかわからなかった。

ただし、用語については下記のように定義します。

```

    graph LR
      A[生データ] -- 加工 --> B[学習用データセット]
      B -- 入力 --> C[学習用プログラム]
      C -- 出力 --> D[学習済みモデル]
      E([ノウハウ]) -.-> B
      E -.-> C
  
```

本案件の定義を下記とする

「生データ」:本人特定情報、返済状況等の与信に関する内容を含むクレジットカードの情報データ

「学習用データセット」:生データを加工したデータ

「学習用プログラム」:学習済みモデルを作成するためのプログラム

「学習済みモデル」:学習用プログラムに学習用データセットを入力して作成したAIシステム

「ノウハウ」:AIシステム作成のための知見(加工・分析手法やアルゴリズムの選択、組合せ、順番など)から、AIシステムの中身であるデフォルト審査基準もノウハウとして規定。

質問 1 従来型のシステム開発の慣例から、顧客A社は各工種の作業を請負契約にしたいと要望している。請負契約にした場合、契約上の問題点は何か？また提案すべき契約形態は何か？

回答 1 *

回答を入力

質問 2 過去の与信審査結果をもとに、AIが与信審査を実施するシステムを構築したい。上記の要望に対して、アセスメント段階では、契約時にA社と何を合意すべきか？

回答 2 *

回答を入力

質問 3 顧客A社はPoCを実施した経験がないため、契約の進め方から協議が必要であり、実現したい具体的な目標が定まっていない。上記の状況において、PoC段階では、契約時にA社と何を合意すべきか？

回答 3 *

回答を入力

質問 4 顧客A社はAIを利用したシステム開発の経験がないため、契約の進め方から協議が必要である。またA社は、従来型のフォールモデルによるシステム構築経験はあるが、AIを利用したシステムの場合、どのような開発プロセスになるか把握していない。上記の状況において、商用開発段階では、契約時にA社と何を合意すべきか？

回答 4 *


回答を入力

質問 5 顧客A社は、運用開始後の追加学習を考慮したシステム運用を検討しているが、A社はAIを利用したシステム開発の経験がないため、契約の進め方から協議が必要である。またA社は、従来型のフォールモデルによるシステム構築経験はあるが、AIを利用したシステムの場合、どのような開発プロセスになるか把握していない。上記の状況において、追加学習段階では、契約時にA社と何を合意すべきか？

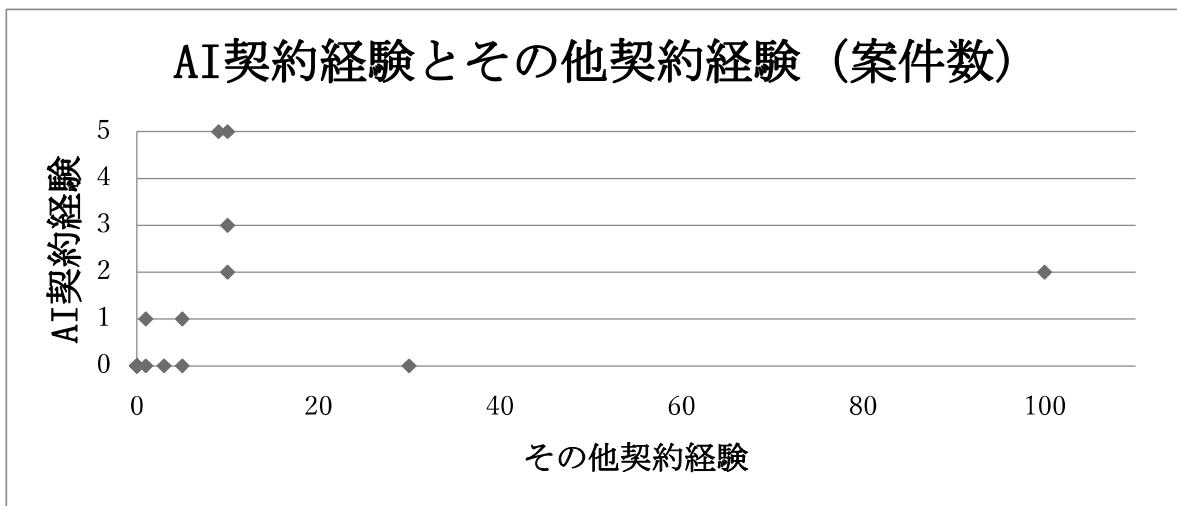
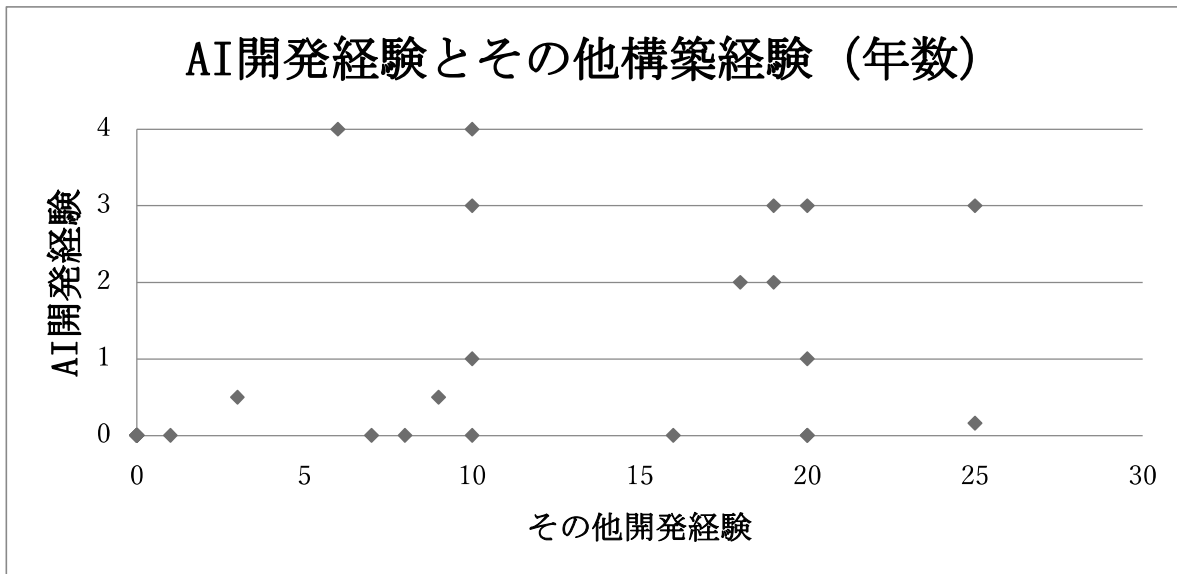
回答 5 *

回答を入力

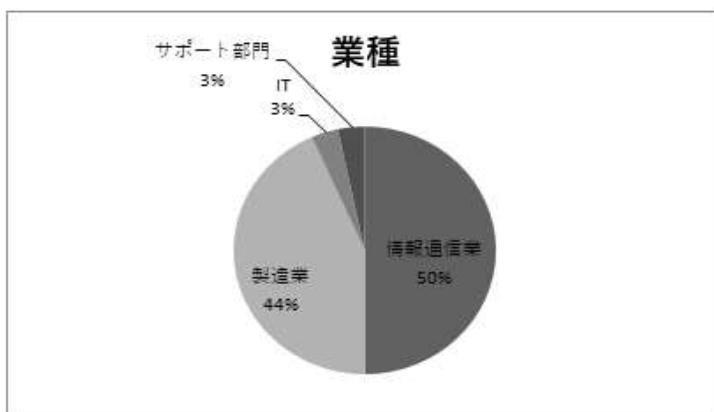
質問 6～9

<p>質問6 SlerB社の作業が完了後、契約上、合意できていなかった事項について、顧客A社との間で訴訟事項が発生した。B社側の立場として、契約時にA社と何を合意できていなかったか？[生データ][学習用データセット]の2点の観点で想定される事例を回答してください。</p>	<p>質問8 SlerB社の作業が完了後、契約上、合意できていなかった事項について、顧客A社との間で訴訟事項が発生した。B社側の立場として、契約時にA社と何を合意できていなかったか？「ノウハウ」の観点で想定される事例を回答してください。</p>
<p>回答6 (生データの観点) *</p> <p>回答を入力</p>	<p>回答8 *</p> <p>回答を入力</p>
<p>回答6 (学習用データセットの観点) *</p> <p>回答を入力</p>	<p>質問9 SlerB社の作業が完了後、契約上、合意できていなかった事項について、顧客A社との間で訴訟事項が発生した。B社側の立場として、契約時にA社と何を合意できていなかったか？「セキュリティ」の観点で想定される事例を回答してください。</p>
<p>質問7 SlerB社の作業が完了後、契約上、合意できていなかった事項について、顧客A社との間で訴訟事項が発生した。B社側の立場として、契約時にA社と何を合意できていなかったか？「学習用プログラム」「学習済みモデル」の2点の観点で想定される事例を回答してください。</p>	<p>回答9 *</p> <p>回答を入力</p>
<p>回答7 (学習用プログラムの観点) *</p> <p>回答を入力</p>	<p>お疲れ様でした。質問はこれで終了です。回答を送信してください。 お忙しいなか協力いただき本当にありがとうございました。</p>
<p>回答7 (学習済みモデルの観点) *</p> <p>回答を入力</p>	<p>送信 フォームをクリア</p> <p>Google フォームでパスワードを送信しないでください。</p> <p>このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー</p> <p>Google フォーム </p>

付録D 属性詳細

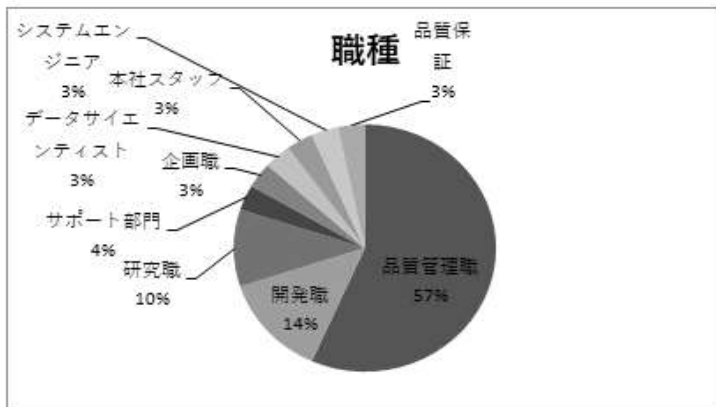


業種	件数
情報通信業	15
製造業	13
IT	1
サポート部門	1

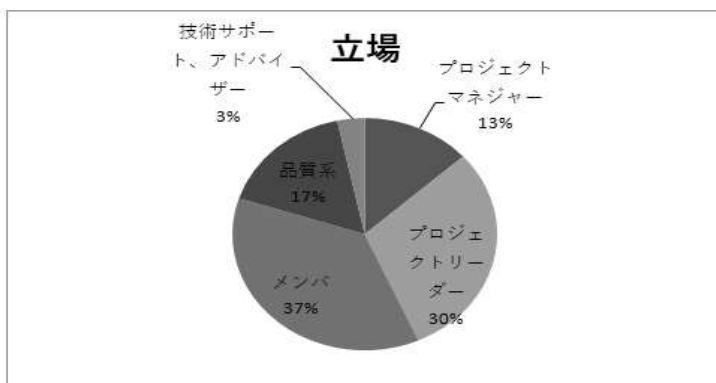


第37年度 研究コース5 「人工知能とソフトウェア品質」(AI Quality Guideline チーム)

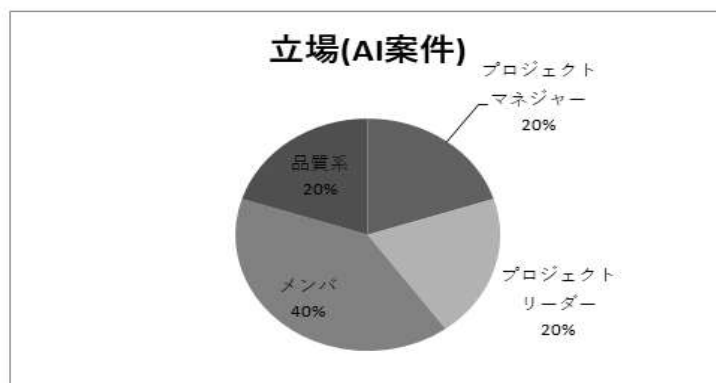
職種	件数
品質管理職	17
開発職	4
研究職	3
サポート部門	1
企画職	1
データサイエンティスト	1
本社スタッフ	1
システムエンジニア	1
品質保証	1



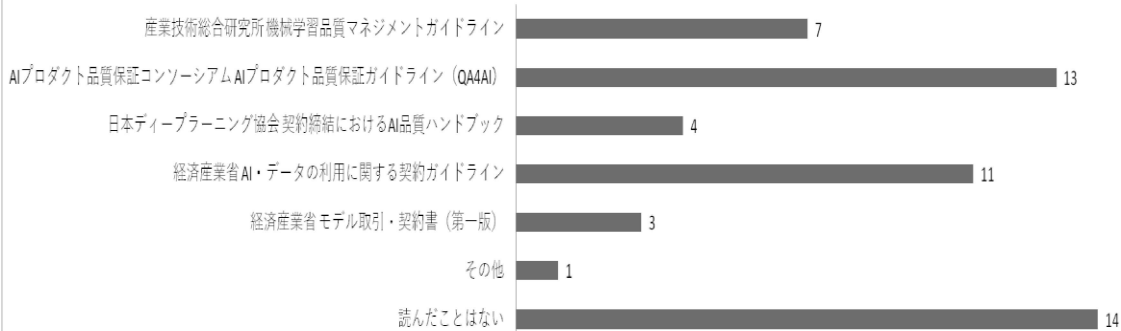
立場	件数
プロジェクトマネジャー	4
プロジェクトリーダー	9
メンバ	11
品質系	5
技術サポート、アドバイザー	1



立場(AI案件)	件数
プロジェクトマネジャー	3
プロジェクトリーダー	3
メンバ	6
品質系	3



ガイドラインの既読経験



付録 E テキスト計量分析結果

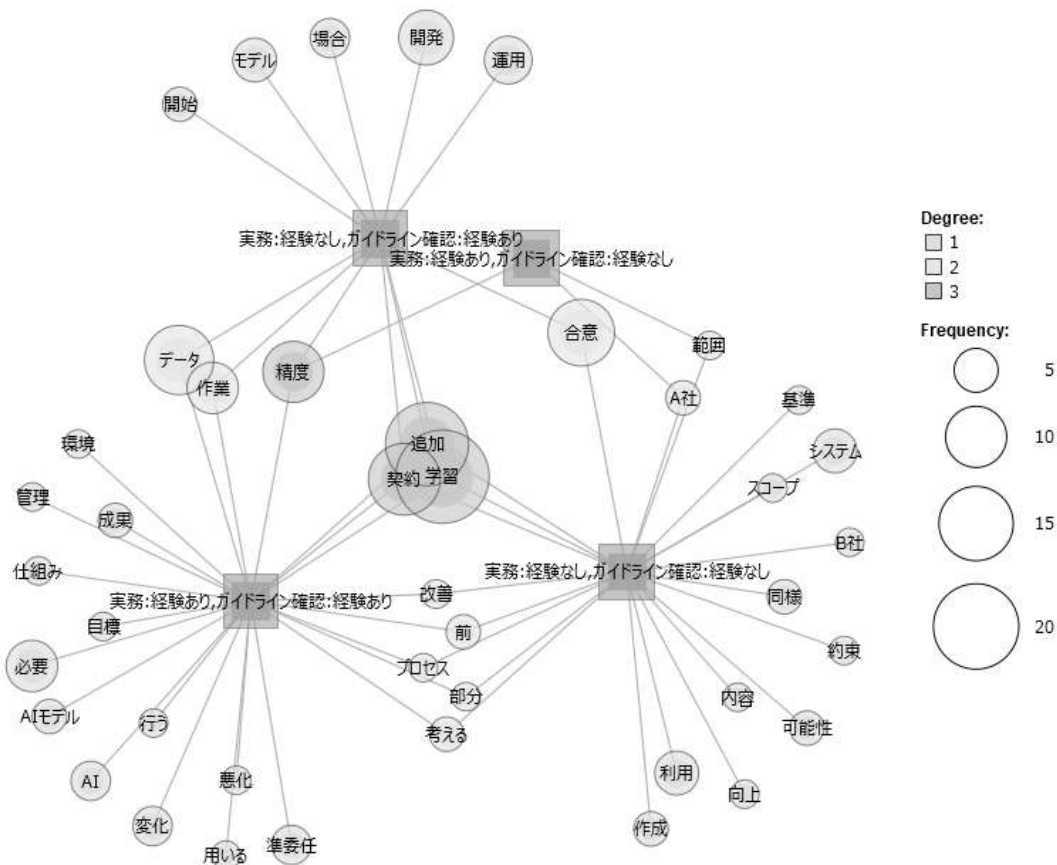
【商用開発段階の観点】

■頻出語の抽出結果

カテゴリ 1		カテゴリ 3		カテゴリ 4	
用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数
AI モデル	.500	合意	.375	プロセス	.455
要件	.500	保証	.364	開発	.412
AI	.333	顧客	.333	合意	.267
ウォーターフ ォール	.333	データ	.231	適用	.250
開発	.250	品質	.182	目的	.250
Fix	.250	従来	.167	AI	.231
A I	.250	Agile	.091	アジャイル	.222
イテレーショ ン	.250	AI モデル開 発	.091	NG	.125
インターフェ ース	.250	それぞれ	.091	WF	.125
プロトタイプ	.250	タイミング	.091	インプット	.125

データ	.214	開発	.222	アーキテクチャ	.100
AI	.182	開始	.177	アウトプット	.100
準委任	.182	モデル	.167	アジャイル	.100

■共起ネットワーク出力結果



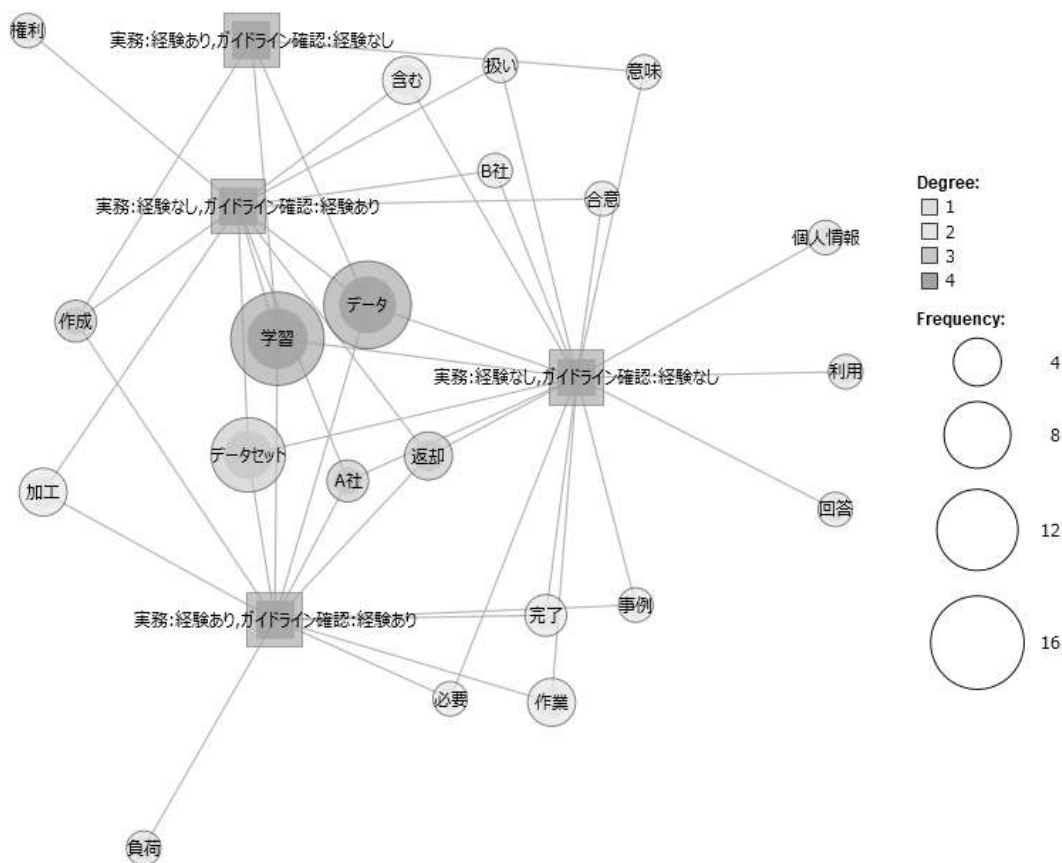
【学習用データセットの観点】

■頻出語の抽出結果

カテゴリ 1		カテゴリ 3		カテゴリ 4	
用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数
ヒアリング	.167	学習	.240	データセット	.238
マシン	.167	加工	.143	含む	.214

期間	.167	それぞれ	.083	回答	.167
検証	.167	エンジニアリ ング	.083	個人情報	.167
顧客	.167	データベース	.083	利用	.167
考慮	.167	ノウハウ	.083	完了	.154
成果物	.167	モデル	.083	作業	.154
責	.167	一種	.083	返却	.143
想定	.167	可能性	.083	イン	.083
増加	.167	解く	.083	バランス	.083

■共起ネットワーク出力結果

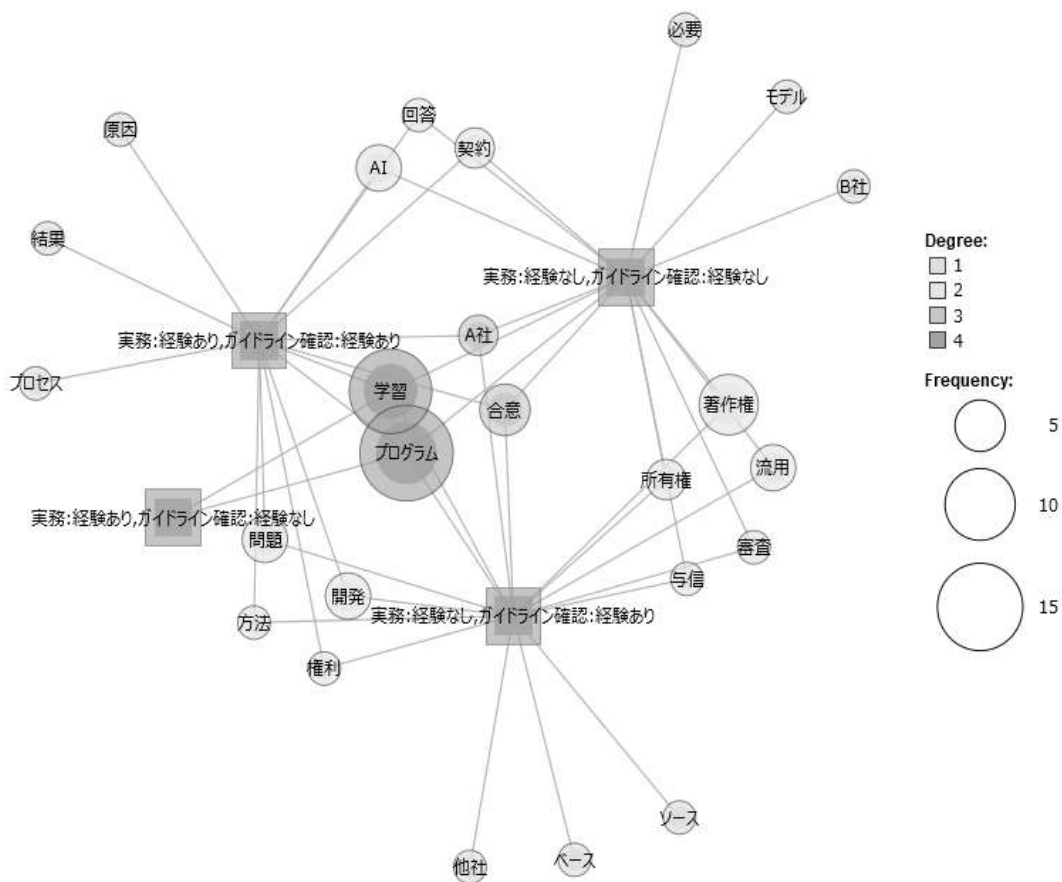


【学習用プログラムの観点】

■頻出語の抽出結果

カテゴリ 1		カテゴリ 3		カテゴリ 4	
用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数
問題	.250	プログラム	.435	著作権	.333
プロセス	.182	学習	.348	B 社	.222
結果	.182	著作権	.177	必要	.222
AI	.167	他社	.154	合意	.167
契約	.167	ソース	.143	システム	.111
AI モデル開 発	.091	所有権	.143	ノウハウ	.111
1 つ	.091	流用	.143	ピン	.111
A I	.091	開発	.133	基準	.111
エンジン	.091	合意	.125	既存	.111
コマンド	.091	AI モデル	.077	作る	.111

■共起ネットワーク出力結果



【学習済みモデルの観点】

■頻出語の抽出結果

カテゴリ 1		カテゴリ 3		カテゴリ 4	
用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数	用語	Jaccard 係数
合意	.231	学習済みモデル	.214	著作権	.250
システム開発	.222	所有権	.143	漠然と	.200
ステークホルダ	.222	データ	.133	使用	.182
業種	.222	合意	.111	合意	.133

検証	.222	or	.077	B社	.100
検証段階	.222	コード	.077	OSS	.100
準委任	.222	ソース	.077	ノウハウ	.100
理想	.222	ファインチュー ーニング	.077	ライセンス	.100
問題	.200	引き渡し	.077	違反	.100
契約	.182	解く	.077	過誤	.100

■共起ネットワーク出力結果

